Sports Fukushima

スポーツふくしま

23
2010.3

(財) 福島県体育協会　〒960-8065 福島市杉妻町5番75号　福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896　FAX 024-521-7971

みんなでスポーツを！

I WILL PLAY SPORTS TOGETHER!

巻頭言

スポーツで人と地域が輝く「ふくしま」を創りましょう

財団法人福島県体育協会専務理事
国　井　裕　一

昨年末、京都で行われた全国高校駅伝競走大会で田村高校男女が、また、国立競技場を目指した全国高校サッカー選手権では尚志高校が活躍し、本県の若い力を全国にアピールすることができました。さらに正月に行われた実業団ニューイヤー駅伝や箱根駅伝においても本県出身選手の大活躍があり、年末年始は多くの方がテレビに釘付けになったことと思います。

また、1月末に広島市で行われた全国都道府県対抗男子駅伝では、本県チームが過去最高タイムで第2位となりました。現地で県人会の方々と一緒になって応援した私も、中高生の力を振り絞った活躍と最終区のデッドヒートに心を打たれ、我を忘れ「がんばれふくしま」を大声で連呼しました。福島県チームは1位兵庫との差3秒でゴールしましたが、優勝できなかった悔しさでもなく、準優勝のうれしさでもない、勝敗をも越え、ひたすら競技に打ち込む本県ランナーの姿に全身が熱くなる感動を覚えました。男子チームの監督は田村高校の下重庄三先生、3区を走ったのは東洋大2年の柏原竜二選手（いわき総合高校出身）で、その柏原選手を指導されたのが下重先生の教え子である佐藤修一先生と、本県指導者と選手の「襷」が時間を超えてしっかりと繋がっていることを実感しました。アンカーの佐藤敦之選手（会津高校出身）は開催地広島の中国電力に勤務していますが、都道府県対抗駅伝だけは福島県のふるさと選手として走ることを決めているそうです。彼は先の世界陸上マラソン6位と日本人最高順位でのゴール後に、ふくしま会津の魂に触れる発言をしてくれましたが、福島県民として心を揺さぶられ何とも言えない誇らしさを感じ、元気をもらいました。

更にカナダバンクーバーオリンピック、パラリンピックでも本県関係選手のメダル獲得や入賞などスポーツ史に残る素晴らしい活躍がありました。フリースタイルスキーモーグル競技では、猪苗代高校出身の遠藤尚選手が見事な滑りで7位入賞（日本男子初入賞）を果たしましたが、そのシーンを目にした子どもたちが自分自身を将来のオリンピック選手として映し出してくれていることと思います。猪苗代町でのスキー世界選手権やワールドカップの開催が、遠藤選手のように世界を舞台に活躍するアスリートを育ててくれたと考えた時、スポーツビッグイベント開催の意義もより一層深まってきます。

県ではスポーツ振興審議会（会長：福島大学白石豊教授）の答申を受け、平成22年度を初年度とする5カ年計画の「福島県スポーツ振興基本計画」を策定いたしました。人口減少や高齢社会の本格的な到来など、社会の急激な変化を踏まえ、厳しい社会経済状況や時代潮流の中にあってもスポーツの振興を通して人と地域が生き生きと活力に満ち、将来に夢と希望を持てる「ふくしま」を創るためのものです。

基本目標は県民が、生涯にわたって主体的かつ継続的にスポーツに親しみながら、人と地域が輝く「ふくしま」を創ることであり、「楽しむ」「育む」「競う」という従来の視点に「つなぐ」という視点を新たに加えています。スポーツをすることで、子どもたちの基本的な生活習慣が身につき、明るく元気なあいさつを交わすようになります。スポーツが高齢者の生きがいとなり、医療費や要介護者の減少が期待されます。また、地域におけるコミュニティーの活性化や世代間交流を盛んにし、豊かな人間関係の構築に繋がるものと考えています。更に、日本古来の武道、スポーツの起源・歴史やスポーツクラブの歴史・伝統などを伝え繋いでいくことも大切な一面です。

「つなぐ」ということは細くなってしまった糸を太くすることや、切れてしまったものをしっかりと結び直すことだと思いますが、家族関係、職場での人間関係、地域での連帯感等々、スポーツを通して更にしっかりしたものに創り上げていくことが大切です。スポーツによる「人づくり」、特色ある「地域づくり」を進めていくことが、県の掲げる「人がほほえみ、地域が輝く、“ほっとする、ふくしま”」を創ることになると考えています。

以前、家族で冬の北海道を旅行しました。寝台特急に乗ってみたかったのと、大倉山でラージヒルのジャンプ競技を子どもと一緒に見るためでした。札幌の地下鉄に乗るとそれらしい服装の人たちも乗車しています。60代くらいの女性3人が乗り込んで来たのですが、会話を聞いていると選手の名前が次々と出てきて、あの大会ではどうであったとか、最後には踏切のタイミングやフォームについてまでも、とにかく話が弾んでいます。応援している選手の今日の活躍に期待を掛けていて本当に楽しそうな光景でした。好きな選手やチームを心底応援し、スポーツをこよなく愛することから、あんなに元気で明るい表情が生まれていることに感心をしました。

「する」「みる」「支える」とスポーツには様々な形があります。一人でも多くの県民の方が何らかの形でスポーツに携わってくださることを切に願っています。

もくじ

1 巻頭言
2 第65回国民体育大会冬季大会成績
3 「さっぽろ氷雪国体」を終えて
4 平成21年度優秀指導者養成事業
5 平成21年度財団法人福島県体育協会表彰式
7 平成21年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業
9 スノースポーツフェスタ2010in猪苗代湖畔の森
10 バンクーバーオリンピックフリースタイルスキー日本代表選手応援イベント
JFAメディカルセンター紹介
11 スポーツ医事・トレーニング相談事業
平成21年度財団法人福島県体育協会アスレティックトレーナー部会
12 平成21年度福島県スポーツ指導者研修会
財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰
10 みんなでつくろう総合型！「ひらたスポーツクラブ」
14 平成21年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿
インフォメーション

【表紙写真説明】　＜写真提供：福島民友新聞社＞
■第65回国民体育大会冬季大会スキー競技
少年男子ジャイアントスラローム第2位　井上賢之介選手（猪苗代高校３年）
■第65回国民体育大会冬季大会スピードスケート競技
少年女子吾妻優選手（郡山商業高校2年）
■天皇盃第15回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会2位でゴールするアンカー
（7区13Ｋ）佐藤敦之選手（中国電力・若松四中－会津高卒）と賞状を手にする福島県チーム

第65回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会区分		会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数 役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	H22 1／27(水)～31(日)	北海道 釧路市	山口 勇	1	13	5	17	35
	スキー競技会	H22 2／25(木)～28(日)	北海道 札幌市	渡部 孝美	1	※1 11 (3)	9 (7)	47	68 (10)

※ 派遣人数の( )は競技団体派遣者で外数

2 競技成績

大会	天皇杯 競技得点	参加得点	得点合計	順位	皇后杯 競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会	4.0点	10点	14.0点	21位	4.0点	10点	14.0点	19位
アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	—	—	—	—	—
スキー競技会	9.0点	10点	19.0点	16位	0.0点	10点	10.0点	18位
合計	13.0点	30点	43.0点	24位	4.0点	20点	24.0点	24位

3 入賞状況(冬季大会)

スケート競技　競技得点 4.0点　天皇杯 21位　皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	スピード2000mR	5	4	福島県	
				長谷部 美桜	郡山商業高等学校3年
				長谷部 美菜	郡山商業高等学校3年
				吾妻 優	郡山商業高等学校2年
				渡邉 唯	郡山商業高等学校2年

スキー競技　競技得点9.0点　天皇杯16位　皇后杯18位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ジャイアントスラローム	2	7	井上 賢之介	猪苗代高等学校3年
少年男子	コンバインド	9	※2	渡部 剛弘	猪苗代高等学校1年

※9位であるが、上位8名以内に同県選手が4名入っており、規則により、上位2名のみに点数を与えるということになっているため2点が与えられた。

福島県の応援幕

スケート競技　選手団結団式

『さっぽろ氷雪国体』を終えて

成年女子B　ジャイアントスラローム　田部井　裕美

＜写真提供：福島民報社＞

国体には今まで10回参加しましたが、在学していた大学の所在地だった埼玉県の代表として出場していたので、福島県からの出場は今回が初めてになります。2006年に結婚し2007年には猪苗代へ移住、仕事に追われる毎日で、目の前がスキー場という好立地にいながら、スキーからは遠ざかる一方でした。

そんなとき、ある人から『来年の国体は札幌だよ。』という言葉を聞き、北海道出身の私はとっさに『これは復帰するしかない！』と思い、夏場から少しずつ山に登ったり、自転車をこいだり、体力作りに励みました。

福島県の国体予選は、無事1位で通過し晴れて国体の切符を手にしましたが、本戦が行われるテイネハイランドの女子大回転コースは、札幌オリンピックで使用されたほどの難易度の高いコース。今の実力では完走すら危ういと思い、福島県選手団よりも先に北海道入りして、ジュニア時代にお世話になったスキー場で直前合宿をしました。高校生まで北海道で育った私にとって、懐かしい人たちや、思い出の場所を訪れることができ、それだけでも充実した時間を過ごすことができました。

レース当日は、前日の雨が冷えてアイスバーンになり、とても難しい状況でしたが、自分の今ある力を出しきってゴールできました。順位は12位でしたが、時間が限られた中でできる限りのことはやったので、入賞できなかったことは悔しいのですが、滑り切った満足感のほうが大きかったような気がします。

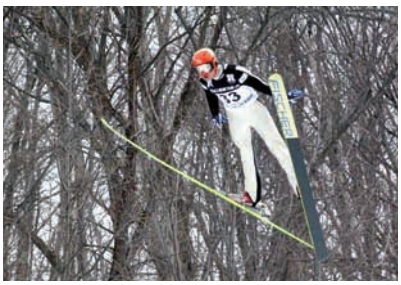
今回の国体出場にあたり、サポートしてくれた関係者の皆さん、応援してくれた皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は、福島県に恩返しができるよう入賞を目指して頑張りたいと思います。

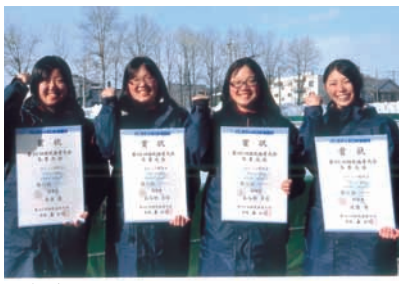
アルペンチーム

フィニッシュ直後の井上賢之介選手
（猪苗代高3年）

少年男子クロスカントリーリレー左から
馬場亮太選手（南会津高3年）
平野貴也選手（会津工高3年）
吉田　元選手（猪苗代高1年）
平野大樹選手（会津学鳳高2年）



ジャンプ競技 渡部剛弘選手
（猪苗代高1年）



少年女子2000メートルリレー左から
吾妻　　優選手（郡山商業2年）
長谷部美桜選手（同3年）
長谷部美菜選手（同3年）
渡邉　　唯選手（同2年）

ショートトラック種目スタート

平成21年度 優秀指導者養成事業

本協会では、スポーツ選手育成・強化事業推進方針の重点事項として「指導者の育成・確保」を掲げています。そこで、競技力向上のための指導者育成を目的とした、「優秀指導者養成事業」を平成17年度より実施しています。

今年度よりネット型競技から推薦された、中心的かつ意欲的な指導者28名が対象となり、3回にわたって実施された講習会に参加しました。

対象競技：ソフトテニス、テニス、卓球、バドミントン、バレーボール

第1回

講　師：勝田 隆先生（仙台大学）
日　時：平成21年5月25日（月）13：30～15：30
場　所：福島県教育会館
テーマ：「戦うための情報戦略」－その本質を考える－

講師の勝田隆先生

意見を出し合う受講者

勝田隆先生はスポーツ情報戦略、コーチングにおける日本の第一人者。日本オリンピック委員会を中心に日本のスポーツ界の最先端で活躍されており、本事業においては平成18年度よりご協力をいただいております。

今回は「見逃さない」をキーワードに「指導の現場において見逃さないために必要ことは何か」について、ワークショップ形式でそれぞれが意見を出し合いました。受講者は「見逃してしまっている」（気づけない）部分が多々あったことを改めて感じたようで、異なった視点やノウハウから刺激を受けることの重要性に気づかされていました。

第2回

講　師：勝田 隆先生（仙台大学）
日　時：平成21年11月9日（月）13：30～15：30
場　所：福島県自治会館
テーマ：「競技現場における情報戦略活動の本質について考える」－見失わない（見せない）こと－

講師の勝田隆先生

熱く語り合う受講者

講師は第1回目に引き続き勝田隆先生。情報の扱い方、効果的な情報の伝え方等、情報戦略活動の本質について、ラグビー日本代表のミーティング風景を参考にしながら、先生の豊富な経験談を交え、お話ししていただきました。また、各グループでのディスカッションを通して、受講者はディスカッションに必要な論理的思考を学びました。

第3回

講　師：白石 豊先生（福島大学）
日　時：平成22年2月16日（火）13：00～15：00
場　所：ふくしま中町会館
テーマ：「本番に強くなる」－プレッシャーとどう戦うか－

講師の白石豊先生

真剣に耳を傾ける受講者

白石豊先生は「スポーツ運動学」と「メンタルトレーニング」における日本の第一人者で、多くのトップアスリートのメンタルトレーニングの指導を行い、数々の成果をあげられています。

今回は、試合本番でのプレッシャーの克服法や、プレッシャー状況下での感情コントロールのテクニック等について、ネット型競技の具体例を交えながらお話しいただきました。受講者は今までの指導について振り返りながら、プレッシャーを克服することの重要性について再認識していました。

平成21年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

平成21年度財団法人福島県体育協会表彰式は、11月27日福島市のウエディングエルティで行われました。

各受賞者に佐藤雄平会長より表彰状が授与され、式の最後には受賞者を代表し、優秀選手賞を受賞された鈴木芽生さんが受賞の喜びを述べ閉会となりました。

表彰式終了後行われた懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いと激励がなされました。下記は今回受賞された皆様の紹介です。(敬称は省略させていただきます。)

表彰を受ける渡辺雄太君（白河実業高校）

スポーツ功労賞

〈多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々〉

- 花澤　興一(福島県野球連盟)
- 志田　光夫(福島県ソフトテニス連盟)
- 石田　　洵(福島県バスケットボール協会)
- 永井　祥一(福島県バドミントン協会)
- 佐藤　英壽(福島県スケート連盟)
- 黒田　宏邦(福島県ソフトボール協会)
- 尾形　一幸(福島県山岳連盟)
- 伊藤　　寛(福島県ボウリング連盟)
- 大野　次男(福島県パワーリフティング協会)
- 佐藤　昌志(福島県スポーツ少年団)
- 高橋　弘壽(福島県オリエンテーリング協会)
- 堀田　　満(福島県スポーツチャンバラ協会)
- 松山　光男(県北地域連合)
- 笠間　　忠(県中地域連合)

優秀選手賞(個人)

〈本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手〉

陸上競技
- 丹野　麻美(ナチュリル)
- 渡辺　真弓(ナチュリル)
- 佐藤　真有(ナチュリル)
- 青木沙弥佳(ナチュリル)
- 吉田真希子(ナチュリル)
- 松田　　薫(ナチュリル)
- 松本　尚太(小高工業高校3年)
- 五十嵐麻央(会津学鳳高校２年)
- 佐藤　光浩(富士通(株))
- 菊池　敦郎(順天堂大学４年)
- 記野　友晴(福岡大学２年)
- 梶　　将徳(早稲田大学１年)
- 田嶋　和也(東海大学１年)
- 佐瀬　一晃(仙台大学４年)
- 山田　啓太(筑波大学４年)
- 佐藤　若菜(仙台大学４年)
- 新妻　　唯(楢葉町立楢葉中学校3年)
- 鎌田　悠暉(郡山萌世高校１年)
- 伊藤　　彩(喜多方高校２年)
- 佐藤　智美(障害者ｺﾐｭﾆﾃｨｰｻﾛﾝまちなか夢工房)
- 山田　真人(株式会社タンガロイいわき工場)

ソフトテニス
- 小山　　舞(西郷村立米小学校６年)
- 鈴木　梨沙(西郷村立羽太小学校６年)
- 永井　里佳(双葉町立双葉中学校３年)
- 半谷　美咲(双葉町立双葉中学校２年)

サッカー
- 幸野志有人(JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島(富岡高校1年)
- 山根恵里奈(東京電力女子ｻｯｶｰ部ﾏﾘｰｾﾞ)
- 長船　加奈(東京電力女子ｻｯｶｰ部ﾏﾘｰｾﾞ)

卓球
- 原　　晃(東京電力(株)福島第二原子力発電所)

ボート
- 鈴木　芽生(西会津高校３年)

水泳
- 小林　和真(日大東北高校３年)
- 国分　香奈(郡山市立高倉小学校５年)
- 加藤　　和(桜の聖母学院短期大学２年)
- 山口　雅文(ミズノ株式会社)
- 西川　友章((財)福島県体育協会)
- 吉田　佳世(清陵情報高校３年)
- 江川　克彦(㈱イカイ)
- 遠藤　寛幸(本宮市立本宮第一中学校3年)
- 星野美沙希(郡山市立芳賀小学校５年)
- 小林　千桜(福島市立北信中学校２年)
- 稲澤　隆輝(郡山市立郡山第六中学校1年)
- 蛭田　尚宏(筑波大学４年)
- 毛　　文燁(郡山女子大学２年)

自転車競技
- 我妻　　敏(日本大学４年)
- 窪木　一茂(日本大学２年)
- 古河　麻美(日本体育大学１年)
- 渡辺　雄太(白河実業高校３年)
- 鈴木　信啓(明治大学４年)
- 小松崎大地(福島県自転車競技連盟)
- 橋本　龍弘(日本大学３年)
- 我妻　優弥(学法石川高校２年)
- 湯坐　香子(修明高校３年)
- 鈴木　啓祐(学法石川高校３年)

バドミントン
- 桃田　賢斗(富岡町立富岡第一中学校3年)
- 藤野　琢人(富岡町立富岡第一中学校3年)
- 保木　卓朗(富岡町立富岡第一中学校2年)
- 星　　千智(富岡町立富岡第一中学校2年)
- 原田なつみ(富岡町立富岡第一中学校3年)
- 早川紗保里(富岡町立富岡第一中学校3年)
- 小林　優吾(富岡町立富岡第一中学校2年)
- 篠田　未来(富岡高校2年)
- 木戸よし美(富岡高校2年)
- 浦谷　夏未(尚志高校2年)
- 斎藤　麻彩(尚志高校2年)
- 大堀　　彩(富岡町立富岡第一中学校1年)
- 高上　麟龍(GPWジュニア)
- 髙橋　　清(福島県ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会)
- 遠藤　真司(福島県ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会)
- 増子　トキ(福島県ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会)
- 大森　康平(富岡高校3年)

アマチュアボクシング
- 斎藤　健司(会津工業高校３年)
- 大堀　秀隆(会津工業高校３年)
- 齋藤　晶(会津工業高校３年)
- 遠藤　智秀(会津工業高校３年)
- 渡部　哲也(会津工業高校３年)
- 伊藤　悠樹(法政大学３年)

柔道
- 富岡亜由美(尚志高校)

スキー
- 井上賢之介(猪苗代高校３年)

ソフトボール
- 野木利佳子(中島村立中島中学校3年)

バレーボール
- 星　美由紀(東北福祉大学４年)

ウエイトリフティング
- 佐藤奈緒美(川俣高校３年)
- 官野　由佳(平成国際大学1年)
- 熊川　雄太(川俣高校３年)
- 吉田　大祐(田村高校３年)
- 吉田　真弘(平成国際大学1年)
- 加藤　温恭(日本体育大学２年)
- 黒江　雄治(早稲田大学４年)
- 丹伊田裕真(三菱マテリアルPMG(株))
- 佐久間勝彦(ゼビオ株式会社)
- 清野　裕司(福島明成商校教員)

レスリング
- 星　　友和(国士舘大学３年)
- 渡部　友章(日本体育大学３年)
- 星　　翔也(田島高校２年)
- 長島　和幸(クリナップ株式会社)
- 北岡　秀王(クリナップ株式会社)
- 五十嵐大介(男山酒造)
- 角田　友紀(喜多方工業高校３年)

銃剣道
- 山口あや子(第６高射特科大隊本管中隊)

アーチェリー
- 西田　昌司((株)アストラゼネカ)

なぎなた
- 道明　佳保(会津若松市立第二中学校２年)
- 原田　　瞳(会津若松市立第二中学校２年)
- 齋藤　美菜(会津若松市立第二中学校３年)
- 庄司　美吹(会津若松市立第二中学校３年)
- 佐藤　未悠(会津若松市立第四中学校２年)
- 佐藤　　希(会津若松市立第四中学校２年)
- 酒井　寿麗(会津若松市立第二中学校３年)
- 岡崎　光里(会津若松市立第三中学校３年)
- 佐藤　里咲(会津若松市立城西小学校６年)
- 渡部　悠雅(会津若松市立鶴城小学校４年)
- 黒沢さつき(会津高校３年)

ゴルフ	●酒井　美紀(東日本昌平高校３年)		
カヌー	●宮田　悠佑(安達高校３年)	●和田　藍加(福島医療専門学校)	●和田　恭平(専修大学３年)
	●中野　友貴(安達高校３年)	●小久保南海(二本松市立二本松北小学校6年)	●國嶋　　論(日本体育大学３年)
	●久野　綾香((株)久野製作所)	●小泉　公道(立命館大学４年)	●根本　孝幸(日本体育大学３年)
少林寺拳法	●髙橋　正詠(学法福島高校１年)		
トランポリン	●佐藤　文紀(尚志高校３年)	●後藤　　健(ＴＥＡＭ　G.T.O)	●菊地　智周(相馬トランポリンクラブ)
	●鈴木裕太郎(尚志高校３年)		
トライアスロン	●菊池日出子(チームブレイブ)		
バウンドテニス	●相原　征子(梁川バウンドテニスクラブ)		
相撲	●薄　　勇樹(東京農業大学３年)		
ボッチャ	●五十嵐翔平(障がい福祉サービス事業所コパン)	●高濟　智史(福島市立福島第二中学校３年)	

優秀選手賞(団体)

〈本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体〉

陸上競技	●第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会4×100mRナチュリル●平成21年度全国中学校体育大会陸上競技男子4×100mR福島市立福島第三中学校●第93回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×100mRナチュリル●第93回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×400mRナチュリル●第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会女子総合ナチュリル
野球	●第31回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会小名浜少年野球教室スポーツ少年団
ソフトテニス	●第26回全日本小学生ソフトテニス選手権大会福島県女子選抜
卓球	●平成21年度全日本クラブ卓球選手権大会男子団体2部福卓会
水泳	●平成21年度全国中学校体育大会水泳競技男子400mリレー郡山市立郡山第一中学校
自転車競技	●平成21年度全国高等学校総合体育大会自転車競技チームスプリント白河実業高校●第64回国民体育大会自転車競技4km団体追抜競走福島県
バスケットボール	●平成21年度全国高等学校定時制･通信制体育大会女子バスケットボール競技郡山萌世高校
バドミントン	●平成21年度全国中学校体育大会バドミントン競技男子団体富岡町立富岡第一中学校●平成21年度全国中学校体育大会バドミントン競技女子団体富岡町立富岡第一中学校
弓道	●平成21年度全国高等学校総合体育大会弓道競技女子団体福島商業高校●平成21年度全国高等学校総合体育大会弓道競技男子団体平工業高校●第64回国民体育大会弓道競技成年女子近的福島県
なぎなた	●第50回都道府県対抗なぎなた大会福島県
カヌー	●平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技男子カヤックペア200m安達高校●平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技男子カヤックペア500m安達高校●平成21年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会男子カヤックフォア500m福島県カヌー協会●平成21年度全国中学生カヌー大会男子カヤックペア500m二本松市立東和中学校●平成21年度全国中学生カヌー大会男子カヤックフォア500m二本松市立東和中学校
トランポリン	●第34回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子団体尚志高校
綱引	●2009全日本ジュニア綱引選手権大会男子ユース480kg以下クラス若宮スピリッツ●2009全日本ジュニア綱引選手権大会男子ジュニア360kg以下クラス木幡一小べんてんクラブ●2009全日本ジュニア綱引選手権大会女子ジュニア280kg以下クラスヤングプラザスポーツ少年団

優秀指導者賞

〈優秀選手の育成に直接貢献した指導者〉

陸上競技	●川本　和久(福島大学教授) ●豊田　博隆(小高工業高校教員) ●雪下　良治(会津学鳳高校教員) ●山内　淳一(喜多方高校教員)
野球	●小和口有久(小名浜少年野球教室スポーツ少年団)
ソフトテニス	●鈴木　俊晴(西郷ジュニア)
自転車競技	●班目真紀夫(白河実業高校教員) ●矢吹　靖弘(学法石川高校教員)
バスケットボール	●小野川仁史(郡山萌世高校教員)
バドミントン	●齋藤　　亘(富岡町立富岡第一中学校教員)
アマチュアボクシング	●篠原　宏和(会津工業高校教員)
弓道	●大石　雅広(福島商業高校教員) ●髙井　幸子(福島県弓道連盟)
カヌー	●小久保英一知(二本松工業高校教員) ●軽部　英敏(安達高校教員)
綱引	●笠原　則人(若宮スピリッツ) ●内谷　昌史(木幡一小べんてんジュニア) ●小野田浩宗(ヤングプラザスポーツ少年団)

受賞者代表謝辞を述べる鈴木芽生さん（西会津高校）

懇談会の様子

会長とのスナップ撮影

平成21年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業

集まれ！！未来のアスリート

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的に行ってきた本事業は、今年で５年目を迎えました。
「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい！！」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

第1ステージ　◆スポーツキッズ発掘テスト◆

第1ステージ・うつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～7月の間に、福島県内6会場で行われました。県内全ての小学校に募集をしたところ、1000通を超える応募がありました。新型インフルエンザの影響があり、当日欠席する応募者もいましたが、877名の子どもたちが元気に参加しました。

選考の結果、50名が選ばれ、昨年選考されている6年生20名を含め、70名が第2ステージに進みました。

■スポーツキッズ発掘テストの内容

テスト内容
２５m走、立ち膝ボール投げ、全身反応テスト、立五段跳、四方向ステップ、反復横跳、閉眼歩行、しっぽとりゲーム

立ち膝ボール投げ

■スポーツキッズ発掘テストの日程と参加者数

実施会場	実施日	会場	参加者数
いわき会場	５月 30 日	いわき市立総合体育館	１１６名
相双会場	６月 ６日	南相馬市スポーツセンター	７８名
会津会場	６月 13 日	河東総合体育館	１５２名
県北会場	６月 20 日	あづま総合体育館	１７９名
県中会場	６月 27 日	本宮市総合体育館	１８０名
県南会場	７月 ４日	須賀川アリーナ	１７２名

■スポーツキッズ発掘テストの参加者数内訳

参加者	男子	女子	合計
２～３年	３４７名	２０９名	５５６名
４～５年	１７３名	１４８名	３２１名
合計	５２０名	３５７名	８７７名

反復横跳

立五段跳

しっぽとりゲーム

全身反応テスト

第2ステージ　◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施したクロストレーニングに参加しました。クロストレーニングは、8月のストレッチバランスボールトレーニング（開始式）から、12月の宿泊トレーニング（修了式）まで、全10回が行われました。

宿泊トレーニングには、アテネオリンピック・体操競技金メダリストの米田功さんをお迎えし、体操教室を行いました。米田さんからは、実技の他に、オリンピックについての話をお聞きしたり、『金メダル』を披露していただきました。

保護者を対象としたスポーツマッサージ講習会や、キッズと保護者合同の栄養学教室も実施しました。

■クロストレーニングの種目と日程

種目	主管団体	日程	会場
ストレッチバランスボールトレーニング(開始式)	県体協（外部指導者招聘）	8月29日	福島市
ボート	県ボート協会	9月 5日	喜多方市
バドミントン	県バドミントン協会	9月26日	白河市
ラグビーフットボール	県ラグビーフットボール協会	10月 4日	いわき市
トランポリン	県トランポリン協会	10月10日	郡山市
バレーボール	県バレーボール協会	11月 1日	会津若松市
アイスホッケー	県アイスホッケー連盟	11月 7日	郡山市
ボルダリング	県山岳連盟	11月23日	郡山市
ボクシング	県ｱﾏﾁｭｱﾎﾞｸｼﾝｸﾞ連盟	12月 5日	いわき市
宿泊トレーニング（修了式）	県体協（外部指導者招聘）	12月19～20日	福島市

トランポリン

開始式

アイスホッケー

バレーボール

ボート

■宿泊トレーニングの様子

コーディネーショントレーニング

栄養学教室

米田さんの体操教室

第2ステージ　◆体験プログラム◆

■スポーツキッズ発掘テストの日程と参加者数

種目	主管団体	日程	会場	参加人数
パラグライダー	県ハング・パラグライディング連盟	7月29日	猪苗代町	22名
トライアスロン	県トライアスロン協会	9月13日	福島市	7名
レスリング	県レスリング協会	10月10日・11月14日	いわき市・南会津町	4名・3名
カヌー	県カヌー協会	10月11日	二本松市	17名
ボクシング	県アマチュアボクシング連盟	11月14日・12月5日	会津若松市・福島市	6名・5名
スケート	県スケート連盟	11月21日・11月28日	郡山市	42名・37名
銃剣道	県銃剣道連盟	12月5日	福島市	5名

レスリング

銃剣道

パラグライダー

カヌー

スノースポーツフェスタ2010in 猪苗代湖畔の森

本協会では、ウィンタースポーツや自然体験など、本県の自然や気候特性を活かした生涯スポーツの一層の普及・振興に努めており、その一環として「スノースポーツフェスタ」を開催し、今年で3回目を数えます。

今年開催されました「スノースポーツフェスタin猪苗代湖畔の森」では、午前はポール、クロスカントリースキー、スノーシューを用いた４つのプログラムを行いました。また、午後はポールを用いた「ノルディックダンス講習会」と日常生活にも生かすことのできる「運動と健康のバランスについて」の講義の2つのプログラムに分かれて活動しました。

県外からもたくさんの参加があり、遠くは北海道や神戸からもお越しいただきました。

参加者たちはたくさんの雪の感触を楽しみ、交流を深めました。

ノルディック・フィットネススキーイング

午前の部

開会式

右から
工藤博氏
海老名真綾氏
星勝久氏

ノルディック・スノーシューイング

午後の部

スポーツ医事・トレーニング相談講座

シャクリンとキビタン

ノルディックウォーキングスキルアップ講座

【期　日】 平成22年2月28日(日)　【会　場】 猪苗代町 「天鏡閣」「ホテルみなとや」

【内　容】

午前の部

①ノルディック・フィットネススキーイング
　▷特別ゲスト
　ソルトレークシティーオリンピック
　クロスカントリースキー日本代表　工藤　博 氏
②ノルディック・ウィンターウォーキング
　▷特別ゲスト
　日本ノルディックフィットネス協会　海老名　真綾 氏
　東北福祉大学予防福祉健康増進センター　星　勝久 氏
③ノルディック・ネイチャースキーイング
④ノルディック・スノーシューイング

午後の部

①ノルディックウォーキング・スキルアップ講座
　「ノルディックダンス講習会」 講師　海老名　真綾 氏
②スポーツ医事・トレーニング相談講座
　「健康と運動のバランスについて」
　講師　公立藤田総合病院　管理栄養士　山﨑　有理子 氏

あの**感動**をふたたび。

バンクーバーオリンピックフリースタイルスキー日本代表選手応援イベント!!

2009年FISフリースタイル世界選手権大会開催地の一つである猪苗代町において、バンクーバーオリンピックフリースタイルスキー日本代表選手の応援イベントが2月14日（日）に開催されました。

当日は、女子モーグル競技が実施されましたが、会場の猪苗代町体験交流館の500インチの大画面に映し出される日本代表各選手の姿に、県内外からおこしいただいた約200人の方々の熱気は最高潮に達し、大いに盛り上がりました。

これからも、トップアスリートの素晴らしいパフォーマンスは、観る者の心に大きな感動を残すとともに、子どもたちへ夢や希望を与えてくれることでしょう。

【主催：スキーリゾートふくしま創造会議】

応援ＦＡＸも多数届けられました
ありがとうございました

上村愛子選手ら日本代表選手の
スキー板も展示

小旗を振って応援！

内容

- バンクーバーオリンピック 女子モーグル競技のパブリックビューイング
- 食のおもてなし（五目おこわ、こづゆ、コーヒー）
- 豪華景品があたる抽選会（上村愛子選手ら出場女子４選手のサイン入り色紙、各スキー場リフト券）
- バレンタインデー特別企画（特製ペアチョコ）

当たって嬉しい抽選会の様子

「JFAメディカルセンター」

JFAメディカルセンターは、施設は楢葉町が整備し、(財)日本サッカー協会が運営を行うスポーツ医療施設として、平成21年8月1日、Jヴィレッジ内にオープンしました。

この施設はFIFA（国際サッカー連盟）のゴールプログラムの助成を受けた世界初の医療施設で、昨年9月にはFIFAのブラッター会長も視察に訪れています。

日立メディコ社製のオープン型MRIなど世界最先端の医療器具を活用し、アスリートに対して専門的な医療サービスを提供するとともに、スポーツの競技力向上や障害予防などに関する研究も行っていきます。

また、整形外科、リハビリテーション科を通じ、地域住民向けの医療サービスを提供し、スポーツ界だけでなく地域医療にも貢献することを目的としています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前：一般外来 10:00～13:00	○	○	×	○	○	○	○
午後：予約（スポーツ）診療 15:00～18:30	○	×	×	○	○	15:00～ 17:00	

写真協力：Jリーグフォト株式会社

MRI室：オープン型のMRIは閉塞感が無く様々な体位・体格に対応

問い合わせ先
ＪＦＡメディカルセンター（Jヴィレッジ内）
〒979-0513
双葉郡楢葉町大字山田岡字美シ森８番
TEL0240-25-1557

スポーツ医事・トレーニング相談事業の様子

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、延べ59名の相談員・講師を派遣しました。

○ 4/9　郡山第四中学校
「ストレッチング教室（けがの予防）」
講師：小林光幸氏（ラソラックス鍼灸整骨院）

○ 7/11　謹教スポーツクラブ
「応急手当とテーピングの方法」
講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）

○ 8/28　南相馬市体育協会
「スポーツ障害について」
講師：齋藤　昭氏（桜ヶ丘さいとう整形外科）

○ 12/6　たまかわ元気スポーツクラブ
「ストレッチング講習会」
講師：鬼澤武則氏（ながおさ整形外科）

○ 12/10　伊達市富野公民館
「バランスボール講習会」
講師：渡邊ひとみ氏・加藤敏徳氏（ARC クリニック）

○ 1/23　本宮市体育協会
「スポーツ障害・外傷について」
講師：堀川哲男氏（公立藤田総合病院）

○ 1/30　東和さわやかスポーツクラブ
「筋力トレーニング教室」
講師：二瓶敦志氏（ARC クリニック）

○ 3/6　小金井ブレーブス（スポ少）
「野球の栄養学」
講師：山﨑有理子氏（公立藤田総合病院）

平成21年度
財団法人福島県体育協会アスレティックトレーナー部会

平成22年3月20日（土）に本協会アスレティックトレーナー（以下AT）部会を開催しました。平成21年度AT養成講習会の受講者の中から14名が認定ATとして、堀川哲男部会長より認定証を授与されました。認定ATの方には、今後もATとしての資質向上に努めるとともに、本協会の事業にも協力していただくようになります。なお、平成22年度もAT養成講習会を実施しますが、詳細は7月にHPに掲載予定です。

平成21年度
福島県スポーツ指導者研修会

【第2回研修会】

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年3回の研修会を実施していますが、今年度は第2回研修会を全県ブロックで開催しました。

午前の講義Ⅰでは、有資格指導者が自信を持って指導活動にあたっていくために、指導者養成事業の基本コンセプトや公認スポーツ指導者制度、資格の必要性などについて改めて理解を深めていました。また、講義Ⅱでは、総合型地域スポーツクラブの質の向上を考える上で、参考となる取り組みをしているクラブの情報を知り、指導者がどのように関わっていくべきか考えることができました。

午後の研究協議は、テーマについて、ブレインストーミング（集団でアイディアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法）でグループワークを進め、解決策や具体的活動について意見をまとめ、発表し合いました。初の試みでしたが、参加者は活発に意見を交換し合うことができました。

【第3回研修会】

○期 日 平成22年1月31日（日）
○場 所 いわき新舞子ハイツ
○内 容「コーディネーショントレーニング」
講　　師 JACOT公認講師 渡部琢也氏 巣立隆宏氏

○期 日 平成21年12月19日（土）
○場 所 ユラックス熱海
○内 容
講　義Ⅰ「21世紀の指導者 ～指導者資格の必要性とは～」
講　　師 日本体育協会インフォメーションオフィサー 塩田幸男氏
講　義Ⅱ「総合型地域スポーツクラブと指導者の関わり」
講　　師 福島大学教授 黒須 充氏
研究協議
「公認スポーツ指導者の活躍できる場をどのように広げるべきか」
ファシリテーター 日本体育協会インフォメーションオフィサー
塩田幸男氏・中澤 謙氏

講義Ⅱ

研究協議

グループワーク

受講者の感想

講習会に参加したことで、運動における7つの能力や楽しみながら継続する必要性を理解することができました。実技講習では、具体的な実践内容を紹介していただきました。工夫されたトレーニングに参加し、楽しみながら実践できる方法を学ぶことができました。今後は、充実した事業提供のため自分自身のキャリアアップの必要性を痛感しました。

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

財団法人日本体育協会では、顕著な功績のあった公認スポーツ指導者に対して表彰を行っています。右表の方々は、以下の基準で受賞されました。

○公認スポーツ指導者として、資格取得後15年以上にわたり、スポーツの指導者育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められた方。
○公認スポーツドクターとして、資格取得後15年以上にわたり、スポーツの普及振興に尽力し、顕著な功績が認められた方。

本県の表彰者は平成7年から今年度までの14年間で、45名を数えます。

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰（H18～21）

	氏名（敬称略）	市町村	保有資格
平成18年	水戸眞由子	福島市	体操上級指導員、ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー
	村井千昭	福島市	公認スポーツドクター
	小川澄	福島市	公認スポーツドクター
	中野新一	伊達市	公認スポーツドクター
平成19年	松田義	福島市	ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー
	渡部孝美	会津若松市	スキー上級指導員、スキー教師
平成20年	岡崎重春	石川町	ソフトボール指導員
	後藤義信	郡山市	ハンドボール上級コーチ
	永井祥一	いわき市	バドミントン指導員
	星野俊一	福島市	公認スポーツドクター
平成21年	山本和子	会津若松市	なぎなた上級指導員
	白根一英	白河市	スキー上級指導員、スキー上級教師、アシスタントマネジャー
	吉田美佐子	いわき市	スポーツプログラマー

みんなでつくろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

ひらたスポーツクラブ

HIRATA SPORTS CLUB

「ひらたスポーツクラブ」は、東北百名山の蓬田岳山麓に広がる「ジュピアランドひらたの芝桜」で知られる、石川郡平田村で活動する総合型クラブです。また、昨年7月には国道49号とあぶくま高原自動車道「平田IC」のクロスポイントに「しばざくらの里：道の駅ひらた」がオープンし、たくさんのお客様で賑わっています。

当クラブは平成20年5月に発足し3年目を迎えます。①世代間交流、②スポーツコミュニティの確立、③次世代へつなぐスポーツ活動、以上の3つをクラブ理念とし、子供から高齢者まで、生活の中にスポーツを取り入れることによって、楽しみ・美容・健康づくり・生きがいづくり・なかまづくり等、「豊かで潤いのあるライフスタイルづくり」を考えて事業を提供しています。

毎週定期的に活動している「アスリートクラブ」(6種目：ソフトテニス・バドミントン・フットサル・硬式テニス・ラージボール卓球・ソフトバレーボール)では、地元出身の指導者が月2回「スポーツ教室」を開催し、スポーツ指導をしています。

また、クラブイベントとして開催し、大盛況なのが「体力番付inひらた」です。スポーツテスト6種目の総合得点により横綱から前頭まで5段階に番付し、自分の体力年齢を測定します。また、年代別に優勝者を決め表彰し、さらに種目別の優勝者を番付して公表しています。参加者は自分の体力年齢を知ることができ、「大関だ！小結だった！来年は横綱だ！！」と楽しく参加しています。この他にも、小学生から高齢者までが参加するふれあいソフトボール大会、プロ野球・Jリーグ観戦ツアーや山登り・日帰り温泉ツアーなど平田村民が楽しんで参加してくれるイベントを開催しています。

ひらたスポーツクラブの今後の方針は、子供・女性・高齢者の方々に楽しく参加してもらえるメニューを増やし充実させて提供していくことです。現在開催しているラージボール卓球教室では、BGMを流し笑いっぱなしで卓球しています。「石原裕次郎の歌声が流れ、笑い声が響き渡る体育館」、このような楽しい時間を、今後も村民のために提供していきたいと思います。

将来的には、スポーツや健康づくりだけでなく、平田村のまちづくりにもつながる公益事業を、地域の声に耳を傾け、役員で知恵を絞って考え、「平田村に住んで良かったね！」と言ってもらえる総合型地域スポーツクラブを目指して、活動していきたいと思います。

【お問い合わせ】
ひらたスポーツクラブ事務局（平田村公民館内）
〒963－8205　石川郡平田村永田字切田158－5
TEL：0247－55－2131　FAX：0247－55－3367　E-mail：hirata.sports.club@gmail.com

ジュピアランドひらたの芝桜

ソフトテニス教室

体力番付（スポーツテスト）

ふれあいソフトボール大会

プロ野球観戦ツアー

平成21年度　福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部（加入順）

福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
(株)福島民報社
合資会社「東館」
(株)ファルテック福島工場
(株)古瀧
(株)クレハ環境
東開クレテック(株)
原町港湾運送(株)
タニコー(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)民報印刷
(株)加地和組
堀江工業(株)
名木製帽店
江花建設(株)
寿建設(株)
(株)NIPPOコーポレーション福島支店
スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)トヨタレンタリース福島
ヤマハ発動機(株)プール事業部東北営業所
白河信用金庫
福島トヨペット(株)
(株)ル・プロジェ
喜多方観光バス株式会社
(株)クラロンスポーツ
(有)吾妻印刷
福島民友新聞(株)
福島テレビ(株)
(株)東北装美
(株)モリヨシ技研
関場建設(株)
庄司建設工業(株)
福島日産自動車(株)
(株)福島中央テレビ
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
クレハ錦建設(株)
トップツアー(株)福島支店
(株)松崎
福島ガス(株)
福島ヤクルト販売(株)
北斗印刷(株)
(株)レオック東北
(株)テレビユー福島
福島観光自動車(株)
ムネカタ(株)
(有)和田印刷
(株)サンベンディング福島
医療法人蔵グループ郡山整形外科リハビリテーション科
福島県商工信用組合
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
ゼビオ(株)
福島県ゴルフ連盟
東北建設(株)
(財)富岡町体育協会
福島県建設業協会双葉支部
楢葉町体育協会
山木工業(株)
(株)クレハいわき工場
福島運送(株)
大塚製薬(株)郡山出張所
(株)海老名建設
(株)ダイユーエイト
六陽印刷(株)
オノヤスポーツ(株)
(学)新潟総合学院ＦＳＧ専門学校グループ
(株)福島放送
トーアエイヨー(株)
福島信用金庫
東北索道協会福島地区部会
(株)プロセス印刷
医療法人待井循環器科内科クリニック
福島県信用金庫協会
キング印刷(株)
磐城通運(株)
福島交通(株)
(株)環境部分析研究所
(株)ウエディングエルティ
(株)ひらい
福島県中央商工振興協同組合
福島トヨタ自動車(株)
クリナップ(株)いわき事業所
(株)山川印刷所
福浜大一建設(株)
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)高橋建設
(株)ヤクルト本社福島工場
(有)エンドースクリーン
名鉄観光サービス(株)
(株)日産サティオ福島
県高等学校体育連盟
アルパイン(株)
福島銀行
竹屋旅館
川井魚店
齋藤整形外科医院

個人の部（加入順）

片平　俊夫
林　幸夫
国井　裕一
佐藤　譲敬
小椋　裕
関　博之
渡辺　洋司
矢澤　良伸
白根　一英
鈴木　栄喜
古川　雅秀
坂本　満恵
高橋　光子
下山田好宏
岩本　忠夫
長岐　博
橘　和彦
滝田　勝彦
佐藤　武彦
藤田彌五兵衛
廣瀬　敬彦
鷲森　淳
齋藤　俊明
佐藤　新治
砂子田敦博
橘　政弘
北村　孝男
佐藤　昌志
岩田　徹
七宮　成夫
福士　寛樹
宍戸　啓光
酒井　卓
富田　孝志
佐藤　祀男
高野　康典
安藤　喜勝
山本　和子
本宿　尚
前田　長
鈴木　浩一
遠藤　均
宗形　俊二
池田　昭宏
酒井　卓夫
平石　家治
高橋　千昭
斎須　秀行
太田　豊秋
武藤　敏治
結城　勝夫
五十嵐源一郎
服部　啓吉
福本　隆
西郷　徹夫
佐藤　信行
田中　邦宏
山田　知
中條　雅彦
野地　陽一
深谷　秀三
櫻井　和朋
佐藤　十次
本田　俊教
吉田　伸一
荒川　信郎
神野美智男
宗田　昌史
星　香里
髙橋　一浩
菅野　泰典
福本　政之
渡部　孝美
永井　祥一
齋藤　久男
花井　宣明
宍戸　正幸
渡辺　正仁
柴山　進
長谷川清治
佐藤　弘樹
鈴木　基司
渡辺　勝
松村　正勝
関根　智美
白石　豊
吉田　政勝
星　光一
鈴木　義祐
伊藤　隆司
須藤　博
柳沼　徹
東城　正幸
渡邉　彌
高橋　満
平山　康夫
御代田公男
森崎　俊紘

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、１４年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。
　本協力会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会後５年間　●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局　総務係TEL024-521-1291

インフォメーション

(財)日体協公認スポーツ指導員養成講習会のお知らせ

(財)日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて各年代に応じた指導ができ、さらに競技力向上においてもその知識や技能を発揮できる指導者の育成に力を入れています。22年度に本県で開催する予定の指導者養成講習会は以下の通りです。

陸上競技・水泳・ソフトテニス
バドミントン・バレーボール

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

(財)日体協公認スポーツ指導者は、その資格の更新のために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

※ただし、水泳、サッカー、スキー、テニス、バレーボール（コーチのみ）、スケート、バドミントン、剣道、山岳、空手道、アイスホッケー、トライアスロン、エアロビック（コーチのみ）、プロゴルフ、プロテニス、職業スキー、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャーの資格者については、資格・競技団体で定められた更新・条件を満たさなければ資格の更新はできません。

平成22年度の予定は以下の通りです。詳しくはお問い合わせください。

平成22年10月24日（日）：会津ブロック　12月19日（日）：全県ブロック　平成23年　1月30日（日）：県南ブロック

※日程は予定です。詳しくはHPをご参照いただくか、県体育協会までお問い合わせください。

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです！

http://www.sports-fukushima.or.jp
E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会
福島市杉妻町5番75号　福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

1. 電話によるご相談　TEL 024-521-7896
2. FAXによるご相談　FAX 024-521-7971
3. メールによるご相談　info@sports-fukushima.or.jp

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター（県体育協会事務局内）
福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp
TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター（富岡町教育支援センター内）
双葉郡富岡町大字小浜字中央４６４－４
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

会津広域スポーツセンター（会津若松市ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内）
会津若松市一箕町大字八幡字八幡２０１
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

先に行われたバンクーバーオリンピック、パラリンピックでは、世界最高峰の戦いと呼ぶにふさわしい熱戦が繰り広げられました。テレビでジャンプ競技のアマン選手（スイス）の驚異のバランス能力が取り上げられ、それを実証する活躍に、なるほどと唸ったものでした。

日本選手の活躍も素晴らしく、中でも本県ゆかりの穂積雅子選手のメダル獲得、猪苗代町出身の遠藤尚選手の入賞と、鈴木猛史選手のメダル獲得は、私たち県民に勇気と力を与えてくれました。

今年はサッカーW杯もあり、まだまだスポーツ界に注目が集まりそうです。この機運を逃さずにみなさまと共に福島県のスポーツ界を盛り上げたいと思います。

※本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業（スポーツ情報提供事業）により作成したものです。

傷害保険　賠償責任保険　共済見舞金

スポーツ安全保険

対象となる事故　**団体活動中の事故／往復中の事故**

保険期間　平成22年4月1日午前0時より平成23年3月31日午後12時まで（申込受付は平成22年3月から）

5名以上の団体でご加入ください

加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金（一人当たり）	傷害保険金額 死亡	傷害保険金額 後遺障害（最高）	傷害保険金額 入院（日額）	傷害保険金額 通院（日額）	賠償責任保険 支払限度額（免責金額なし）	共済見舞金
子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。））	スポーツ・文化・ボランティア・地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など） 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外（個人活動など）の補償額	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	
				日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様					
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象となりません
				日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。					
大人 高校生以上 65歳以上の方も加入できます。	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など） 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
大人 65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※掛金には（財）スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。　Web　スポーツ安全協会　検索

財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部
（福島県体育協会内）

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館　TEL 024-526-4600 電話受付時間：午前8時30分～午後5時30分（土、日、祝日を除く。）

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

http://www.sportsanzen.org

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険等）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をご確認ください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険㈱までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社　（担当課）公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133（平日9:00～17:00）
〈共同引受保険会社（平成22年4月予定）〉※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害　共栄火災　損保ジャパン　大同火災　東京海上日動
日新火災　ニッセイ同和損害　日本興亜損害　富士火災　三井住友海上

平成21年12月作成 1310-09-247